



平成26年4月の保育所入所待機児童数について

杉並区における本年4月1日時点の保育所入所待機児童数についてお知らせします。

杉並区は、昨年3月に策定した「待機児童対策緊急推進プラン」に基づき、認可保育所や区保育室を中心とした保育施設の整備を進め、この1年間に約1,000人の新たな保育定員を確保しましたが、一方で、女性の就業率の高まりを背景に、認可保育所の入所申込者数は、昨年比約300人増の3,428人となり、その結果、本年4月時点の待機児童数は、116人となりました。

昨年は285人で、昨年比169人(59.3%)の減少。

国の定義では、保育需要の実態との乖離があるため、昨年から、下表のとおり、「より実態に応じた待機児童数」を区独自に算定しています。なお、国の定義に基づく待機児童数は57人となり、国の定義に対する問題提起の意味合いから、昨年同様、これら2つの待機児童数(116人と57人)を東京都へ報告していきます。

昨年の国の定義に基づく待機児童数は94人で、昨年比37人(39.4%)の減少。

区では、既に26年度中に600人規模の認可保育所を核とした施設整備を計画化していますが、今回の待機児童数等を踏まえた整備数の上方修正を図るなど、待機児童対策を一層推進していく考えです。

	より実態に応じた待機児童数		国の定義に基づく待機児童数	
	26年4月	25年4月	26年4月	25年4月
親類・知人・友人に預ける	24人	28人	24人	28人
ベビーホテルを利用する(区の保育料補助対象外)	20人	20人		
一時保育を利用する	18人	37人		
職場に連れていく・自宅勤務に変更した	14人	38人	14人	38人
企業内保育施設・病院内保育施設を利用する			19人	28人
仕事を退職した・内定した仕事を辞退した・求職活動を止めた	17人	51人		
育児休業を延長した	12人	88人		
ベビーシッターを利用する	5人	7人		
求職中のひとり親家庭など	6人	16人		
合計	116人	285人	57人	94人

【田中区长コメント】

今回、「待機児童ゼロ」の達成ができなかったことについては、誠に遺憾に思っています。このため、区では、早急に平成26年度の整備目標を上方修正した上で、認可保育所を核とした施設整備を進めるとともに、5月27日開会予定の第二回区議会定例会に必要な補正予算を提案し、保育の待機児童対策に引き続き手を緩めることなく全力で取り組んでまいります。

【問い合わせ先】

保健福祉部保育課 TEL: 3312-2111 (代表)